

【情報公開文書】

2022年8月1日作成

Ver.1.2

研究課題名	悪性リンパ腫における予後因子およびバイオマーカーに関連した病態解明を行う研究
所属（診療科等）	長崎大学病院 血液内科
研究責任者	加藤 丈晴 （助教）
研究機関	<p>本研究は長崎大学病院血液内科を中心に全国の約20施設で実施します。詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。</p> <p>《研究代表機関》 研究代表機関名 久留米大学医学部病理学講座：大島孝一 《共同研究機関》 長崎大学病院 血液内科：加藤丈晴 その他、全国の約20施設で実施しています。 詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。 詳しい共同研究機関をお知りになりたい方は下記のURLより確認してください。 https://www.kurume-u.ac.jp/site/joint/seimeishinsa.html</p>
研究期間	2020年7月21日～2025年5月31日
研究目的と意義	悪性リンパ腫は血液のがんの一種です。悪性リンパ腫にも様々な種類があり、病気の進行する早さや治りやすさが異なります。また、おなじ種類の病気でも、病気の進行する早さや治りやすさは様々です。多くの患者さんが治るように、様々な検査所見（予後因子）や生物学的所見（バイオマーカー）を調べることで、そのような病気の性質を予測することや、病気の性質を明らかにすることを目的とします。
研究内容	<p>● 対象となる患者さん 2021年3月までに悪性リンパ腫を含むリンパ増殖性疾患と診断され長崎大学病院血液内科で診療を受けた患者さん。</p> <p>● 利用する情報／試料 ＜臨床情報＞ 身長、体重、病歴、既往歴、血液検査データ（血算、白血球分画、生化学、総タンパク、アルブミン、LDH、可溶性IL-2受容体など）、画像データ（CT、PET、MRIなど）、その他（治療および効果に関する情報など治療経過に関する情報）</p>

	<p><試料> 病理検体 本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。</p> <p>●研究の概要・方法 病理検体を用いて、各種試薬を用いた病理形態学的検討に加えて、検体から抽出した DNA や RNA、蛋白を用いて、遺伝子の発現異常や変異を含めた様々な解析を行います。さらに、臨床情報と組み合わせて病気の性質や治りにくさと関連する所見を検討します。</p> <p>試料・情報の一部は、久留米大学医学部病理学講座の他、九州大学医学部病態修復内科学、京都大学医学研究科腫瘍生物学、北海道大学血液内科、筑波大学血液内科、名古屋大学大学院医学系研究科ウイルス学、新潟大学血液内科などにも遺伝子や蛋白の解析のために提供されます。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>【研究担当者】 氏名：加藤 丈晴（医師） 長崎大学病院 血液内科 住所：長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7380 FAX 095（819）7538</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>